

静岡同友会 2025 年ビジョン

◆ビジョン発表にあたって

静岡県中小企業家同友会は 1974 年の設立以来、「3つの目的（よい会社・よい経営者・よい経営環境をつくろう）」「自主・民主・連帯の精神」「国民や地域と共に歩む中小企業」の同友会理念の実現にむけて、企業づくり・地域づくり・同友会づくりに邁進してきました。71 名の経営者と共に発足した静岡同友会は、会員企業の皆様をはじめ、関係諸機関や地域の皆様に支えられ、会員 1000 名を超える経営者団体に発展して参りました。

本ビジョンの前身にあたる 2020 年ビジョン(2016～2020 の 5 ヶ年ビジョン)では、企業づくり「経営指針づくりを通じて多くの 21 世紀型企業を創出する」、地域づくり「地域に寄り添い、中小企業が主役の経営環境づくりを推進する」、同友会づくり「信頼される経営者団体として活力ある 1500 名の静岡同友会を実現する」を掲げ同友会運動を展開してきました。

2020 年は新型コロナウイルス感染に伴う深刻な影響が国内外に広がりを見せ、企業と地域そのものの存続が危ぶまれております。静岡同友会では「コロナに負けない。突破のヒントは同友会にあり」を合言葉に、社員を守る、企業を守る、企業活動の継続・成長をめざすことを会員に呼びかけ、地域と企業の存続を車の両輪として捉え会活動を展開してきました。2020 年ビジョン最終年にあたる 2020 年度、静岡同友会ではビジョンプロジェクトチームを立ち上げ、これまでの到達点を共有し、新たな時代を歩む静岡同友会 2025 年ビジョンの策定を進めてきました。

2025 年ビジョン（2021～2025 年の 5 ヶ年）は、「企業づくり」「地域づくり」「同友会づくり」の 3 つの柱で構成しています。本ビジョンを、支部・県専門委員会の年次方針や活動計画に落としこみ、会員への周知・共有・理解を深めあっていただくと共に、会員は本ビジョンを自社の経営方針や計画に生かし、その具体的成果と教訓を同友会のあらゆる活動の場において共有しあい、静岡同友会の運動の前進を図っていきます。

激変する時代を生きる私たち経営者に求められていること、それは企業を守る、社員を守る、そして地域を守っていくという確固たる決意と企業変革へのあくなき挑戦といえます。「同友会と出会ってよかった、続けてきてよかった、おかげで企業も地域もよくなった！」そのような声に溢れる静岡同友会を会員皆様と共に創って参ります。

2021（令和 3）年 5 月 21 日

代表理事 井上 斉

県理事会一同

2025 年ビジョンプロジェクト一同

◆2025 年ビジョン

「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

企 業 づ くり

私たちは、関わる全ての人々が「成長」と「幸せ」を
実感できる企業をつくります

企業経営は常に環境変化との共育ちです。経営者には、不確実性という道を進む『勇気』と『行動力』、変化の風を感じ、読み解く『洞察力』、そして未来の成長と幸せへの道筋を描く『デザイン力』が求められます。未来の幸せを実現するためには、自ら変化を求め、変化に向き合い、変化の声を聴き、変化の本質を見極め、変化という土壌に未来の多様な幸せの種を植え続けて行かなければなりません。蒔いた幸せの種が芽を出し、真っすぐに成長して行くために、自らの事業の普遍的な目的と持続的成長のための課題や目標を自問自答し続け、勇気をもって行動し、変化に負けないしなやかで強靱な経営基盤を創り上げて行きましょう。

地 域 づ くり

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、
人々の幸せが見える地域をつくります

「中小企業は経済を牽引する力であり、社会の主役である」平成 22 年に閣議決定された中小企業憲章冒頭の文言です。中小企業は地域と共に生きており、中小企業経営と地域を切り離して考えることはできません。中小企業が永続的に発展する地域の実現には、地域を構成する組織との連携が不可欠です。私たちは地域から信頼される経営者・企業・経営者団体になり、地域からの期待に応え続けることで人々の生活基盤を支え、中小企業が輝く地域を実現していきましょう。

同 友 会 づ くり

私たちは、企業と地域を守る経営者の^{きやうじ}矜持と努力を
結集し、学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して
県下 1500 名会員を実現します

経営者人生の中で縁あって出会った同友会。同友会の主役は紛れもなく、一人ひとりの会員経営者の皆さんです。経営者としての矜持(誇りを持ち続けること)と努力を、互いに本気本音で語りあい、励ましあえる会活動を展開し、「同友会に出会ってよかった、入会してよかった」と実感する会員に溢れる経営者団体であり続けましょう。2025 ビジョンが始動します。企業づくり・地域づくり・同友会づくりに掲げられたビジョンの実現にむけて、会員、事務局、地域、そして今を生きるすべての人たちに誇れる経営者団体を、会員・事務局が協同して創っていきましょう。

※次頁からは、「企業づくり」「地域づくり」「同友会づくり」の具体的ビジョンとなります

企 業 づ くり

私たちは、関わる全ての人『成長』と『幸せ』を
実感できる企業をつくりま

◆企業づくり方針

私たちは、いかなる環境変化に直面しても、共に成長と幸せが実感できるストーリーを描き続けます。そして、関わる全ての人と共に目標に向かって歩み続ける企業づくりを実践します。

◆重点方針

□変化をチャンスに変える感性を磨きます

私たちは常に好奇心を持ち、社会の変化、ニーズの変化に高くアンテナを張り、変化の本質を感じ、大きな流れを新たな価値に変えられるよう、自らの感性を高め、環境適応力を磨く努力を怠りません。

□持続的成長への道筋を明確にします

変化をチャンスに変え、チャレンジに変える為には、明確な目指すべき会社の姿と事業の目的、成長の道筋、明確な目標や課題、戦略と戦術が必要になります。私たちは、目指す会社の姿や事業の目的を『経営理念』に、成長の道筋を『経営方針』に、自社の目標や課題、戦略や行動を『経営計画』に「自分の言葉」で表現し、常にそれらの『実践と検証』を繰り返します。

□共に育ち、共に成長と幸せが実感できる道筋を共有します

変化が会社を強くし、人を強くし、絆を強くする。目指す道筋を関係する全ての人と共有し、多様な個性の中でそれぞれが役割と責任をもち、安心して小さな成功体験を重ねることで、一人一人が成長を実感し、物心両面での幸せを実感することが出来ます。私たちは、全ての人々が小さな成功体験を実感できる企業風土を作り、労使でワクワクする道筋を描きます。

□地域企業としての責任を果たします

地域の課題と中小企業の課題は不離一体。中小企業の成長と地域の成長も不離一体です。どんな会社を創り上げていくかは、どんな地域を創り上げていくかと同じベクトルになります。私たちは、地域内の連携を強め、主体的に地域に関り、地域の成長と自社の成長を繋げていきます。

□仲間とともに成長と幸せを実感できる企業づくりを実践します

同友会を経営者の集まりとし、生きた経営情報、生きた経験を語りあう場とします。地域企業経営者の責務として、夢を語り、想いを語り、受けた恩を次世代に送っていきます。私たちは、地域の未来、国の未来、地球の未来のために、謙虚さと情熱を持って、相互に学び続けます。

地 域 づ り

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、
人々の幸せが見える地域をつくります

①地域の期待に応えられる経営者・企業・経営者団体として地域の現状や課題を常に把握します

理想の地域の実現には、その地域が持つ特性を一人ひとりが理解することが大切です。会員は理想を描く同友会の仲間と地域の課題と自社経営の関係性、中小企業に対する期待を学びあい、自社と地域の未来を語りあいましょう。支部では関係機関と中小企業が地域の未来を語りあう機会を創出し、関係を深め、地域で一番に頼られる存在になりましょう。

②環境変化に適応する強靱な地域をつくります

社会構造や国民の仕事に対する価値観、人生観など、これまでの固定概念や中小企業を取り巻く環境が大きく変化しています。こうしたパラダイムシフトに直面したとき、企業・同友会だけでは解決できない問題がでてきます。会員は企業づくりを、支部では会活動を通して地域との関係を密にし、変化に迅速に対応する関係を築きます。同友会は仲間を積極的に迎え入れ、地域に寄り添う経営者団体として存在し続けましょう。私たちが主役となり、人々の幸せが見える地域を実現します。

③中小企業振興基本条例の制定と活用を推進します

中小企業振興基本条例(以下条例)制定運動により、18市2町(県下35市町、2021年3月現在)で条例が制定されました。同友会は経営環境改善にむけ、全市町で条例制定、運用を検討する会議体(以下振興会議)設置を目指します。会員は条例の意義を学び合い、地域づくりの語り部になりましょう。企業、行政、金融、教育、支援団体が一堂に会する振興会議では、会員が委員として参画し、中小企業の実情や思い、地域の未来を発信しましょう。

④中小企業の声地域に届けます

行政との意見交換会の開催、県内4信用金庫と中小企業支援を目的とした包括連携協定締結と、会外に中小企業の現状を発信する関係構築が進んできました。会内では、年2回、景況調査を実施し中小企業の声をもとにまとめています。全支部が地域関係機関に調査結果を発信し、中小企業の声が反映される地域を実現します。会員は調査結果をもとに情勢分析し、自社と地域の発展に生かしましょう。

⑤未来に思いを馳せよう

いつの時代も地域と共に生きる中小企業は地域経済を支える大黒柱です。そして中小企業にとって地域は不可欠な経営基盤です。地域の未来を考える事は企業の未来を考えることに繋がります。私たち経営者自らが、中小企業が発展し続ける理想の地域を思い描き、企業の目指す先に地域

の未来を盛り込み、経営していきましょう。

同 友 会 づ く り

私たちは、企業と地域を守る経営者の矜持と努力を
結集し、学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して
県下 1500 名会員を実現します

①企業と地域を守る経営者の矜持と努力を結集しよう！

企業を守る、社員を守る、そして地域を守る確固たる決意と企業変革への挑戦が私たち経営者に求められています。経営者としての矜持(誇りを持ち続けること)と努力を、互いに語りあい、励ましあえる会活動を創りましょう。会員は同友会での学び・気づきを自社で実践し、同友会と企業経営を不離一体に話ができる“語り部”に溢れる経営者団体にしていきましょう。

②学び・気づき・ワクワク溢れる活動を展開しよう！

経営者だからこそ得られる学び、異業種だからこそ見える気づき、新しい会員との出会い、生涯に亘って語りあえる真の友人との出会いなど、同友会の中で、我が経営を語りあう、多くの学び・気づき・ワクワクが溢れる場や機会を、役員と事務局が連携して作っていきましょう。他支部や県専門委員会、県行事、全国大会にも積極的に参加しましょう。

③会員増強は経営者にできる最大の地域貢献！

「同友会があってよかった」と思える活動を展開し、企業を守る・社員を守る・地域を守る新しい仲間を増やしましょう。会員増強は経営者にできる最大の地域貢献です。互いを思いやり、本気本音で語りあえる仲間を増やし、1500名会員（対企業組織率3%）を実現しましょう！「入ってよかった、続けてよかった」と会員誰もが実感できる経営者団体でありましょう。

④事務局は同友会運動のプロであり続けよう～事務局の役割と期待～

事務局は会員と共に同友会理念の実現を推進する私たちの大切なパートナーです。事務局員は積極的に役員と話しあい、同友会運動の主体者として、自覚と責任を持ち続けましょう。労働環境の改善、共に育ちあう風土づくり、教育と教養の向上を図り、会員からあてにされる事務局づくりを進め、同友会に入ってよかった、続けてよかったと思える事務局にしていきます。

⑤積極果敢に変化へ適応する経営者団体になろう～健全財務の拡充と組織の改革と整備を～

2025 ビジョンの実現をめざし、時代の変化に柔軟に対応していく経営者団体でありましょう。1500名、そして2000名会員体制を見据え、現状の組織や活動、財務の在り方を検討し、組織の改革と整備、健全財務の拡充を積極果敢に推進し、よりよい静岡同友会の姿を会員・事務局で創っていきましょう。